

2016年12月

結婚式市場の今後の発展へ向けての分析と提言

情報学部 経営情報学科 手塚ゼミ
B3p21024 太田光彦

【卒業論文概要】

現在国内、国外を問わず結婚式の件数は減少傾向にあります。

その要因は様々で、晩婚化や授かり婚、景気や流行といったあらゆる事柄に左右されています。しかし、海外ウエディングやハウスウエディングといった分野や、式場によっては年々売り上げを伸ばしている会社もあります。まさにこれから結婚を控えている20代の世代はどんなスタイルの結婚式なら高いお金を払ってでも式を行いたいと考えるのか、そもそも結婚という、人生に一度のことをどの程度意識しているのか、こういった課題をアンケート中心に情報を抽出していきました。どの程度意識しているのかということを探るためにアンケートの項目を増やし興味をもっているのか、もっていないのならばなぜなのかといったように結婚式に対する意識の部分を男女別、意向別に分け、掘り下げていきました。男女共に結婚したいかという質問、式も披露宴も挙げたいかという質問共に挙げたいという票が多く集まる結果になりました。しかし、アンケート実施前から予測していた通り様々な結婚式のスタイルに対する認知度は低く、ここの認知度をいかに若者に対しアプローチしていくかということが今後の課題になっていきます。私自身就職先がブライダル業界なのでいま現在自分が持っている考えも出していければと考えています。